



LED照明器具の光量を測定する配光測定装置＝徳島市の県立工業技術センター

県工技センター

国認定の試験施設に

LED照明全般を測定

徳島県立工業技術センター（徳島市）は7日、「LED照明器具全般」の光量と消費電力を測定する国際規格に適合した試験施設として、国の認定機関に登録されたと発表した。全国7例目で公的研究機関では初めて。光量測定にはLED照明器具全般と電球形LED照明、直管LED照明の3区分があり、全般は電球形と直管以外の全てが対象。鏡に反射させた光をセンサーで感知し、総光量を調べる配光測定装置を用いた試験を行う。

センターは3月、独立行政法人製品評価技術基盤機構（東京）に登録を申請。6月に審査員がセンターを訪れ、データ管理や試験担当者の技量、機械の精度、試験室の環境条件などを確認した結果、国際規格と日本工業規格（JIS）に適合した施設と認められた。試験を受けた製品には、相互認証制度のあ

る87カ国・地域で通用する試験証明書を発行できる。これによって海外でも品質を保証でき、センターは「施設を活用し、海外市場への展開を積極的に支援したい」としている。センターは2014年6月に電球形、15年3月に直管で、国際規格に適合した試験施設として登録されている。今回の登録により、光量測定に関する3区分全てをクリアした。

試験を受けた製品には、相互認証制度のあ

（大塚康代）